

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年7月26日 (2012.7.26)

【公表番号】特表2011-525176(P2011-525176A)

【公表日】平成23年9月15日 (2011.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2011-037

【出願番号】特願2011-512880(P2011-512880)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/898 (2006.01)

A 6 1 Q 1/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/04 (2006.01)

A 6 1 Q 1/10 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

C 0 8 G 77/38 (2006.01)

B 0 1 F 17/52 (2006.01)

B 0 1 F 17/54 (2006.01)

C 0 8 G 77/26 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/898

A 6 1 Q 1/00

A 6 1 Q 1/04

A 6 1 Q 1/10

A 6 1 Q 17/04

A 6 1 K 8/06

C 0 8 G 77/38

B 0 1 F 17/52

B 0 1 F 17/54

C 0 8 G 77/26

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年6月5日 (2012.6.5)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 8 】

C₁ ~ C₁₈ 炭化水素残基 R₁ の例としては、アルキル残基、たとえばメチル残基、エチル残基、n - プロピル残基、イソ - プロピル残基、n - ブチル残基、イソ - ブチル残基、tert - ブチル残基、n - ペンチル残基、ネオ - ペンチル残基、tert - ペンチル残基、ヘキシル残基、ヘプチル残基、たとえばn - ヘプチル残基、オクチル残基およびイソ - オクチル残基、たとえば 2, 2, 4 - トリメチルペンチル残基、ノニル残基、たとえばn - ノニル残基、デシル残基、たとえばn - デシル残基、ドデシル残基、たとえばn - ドデシル残基、シクロアルキル残基、たとえばシクロペンチル残基、シクロヘキシル残基、シクロヘプチル残基およびメチルシクロヘキシル残基、アリール残基、たとえばフェニル残基およびナフチル残基、アルカリール残基、たとえばo - 、m - 、p - トリル残基、キシリル残基およびエチルフェニル残基、アラルキル残基、たとえばベンジル残基、
および - フェニルエチル残基がある。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0061

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0061】

油ベースの本発明による組成物は、好ましくは直鎖または分枝状の飽和または不飽和の $C_7 \sim C_{40}$ 炭素鎖を有する炭化水素油類、たとえばドデカン、イソドデカン、コレステロール、水素化ポリイソブチレン類、ドコサン類、ヘキサデカン、イソヘキサデカン、パラフィン類およびイソパラフィン類のほか、動物および植物由来のトリグリセリド類、たとえば牛脂、豚脂、ガチョウ脂、ペルヒドロスクアレン、ラノリン、ヒマワリ油、トウモロコシ油、大豆油、米油、ホホバ油、バブスク (babusscu) 油、カボチャ油、ブドウ種子油、ゴマ油、クルミ油、アプリコット油、マカダミア油、アボカド油、スイートアーモンド油、ハナタネツケバナ (lady's smock) 油、ヒマシ油、オリーブ油、ピーナッツ油、菜種油およびヤシ油、ならびに合成油類、たとえばピュアセリンオイル (purecellin oil)、直鎖および/または分枝脂肪アルコール類および脂肪酸エステル類、好ましくは6~18個、好ましくは8~10個の炭素原子を持つ Guerbet アルコール；直鎖 ($C_6 \sim C_{13}$) 脂肪酸と直鎖 ($C_6 \sim C_{20}$) 脂肪アルコールとのエステル；分枝 ($C_6 \sim C_{13}$) カルボン酸と直鎖 ($C_6 \sim C_{20}$) 脂肪アルコールとのエステル、直鎖 ($C_6 \sim C_{18}$) 脂肪酸と分枝アルコール、特に2-エチルヘキサノールとのエステル；直鎖および/または分枝脂肪酸と多価アルコール（たとえばダイマージオールまたはトリマージオールなど）および/または Guerbet アルコールとのエステル； $C_1 \sim C_{10}$ カルボン酸または $C_2 \sim C_{30}$ ジカルボン酸のアルコールエステル、エステル、たとえばアジピン酸ジオクチル、ジイソプロピルダイマージリネオラート；プロピレングリコール/ジカプリレート、またはワックス、たとえば蜜蝋、パラフィンワックスまたはマイクロクリスタリンワックス、任意に親水性ワックス、たとえば、セチルステアリルアルコールなどと組み合わせたもの；フッ素化および過フッ素化油 (perfluorinated oil)； $C_1 \sim C_{30}$ カルボン酸のモノグリセリド、 $C_1 \sim C_{30}$ カルボン酸のジグリセリド、 $C_1 \sim C_{30}$ カルボン酸のトリグリセリド、たとえばカプリル酸/カプリン酸のトリグリセリド、 $C_1 \sim C_{30}$ カルボン酸のエチレングリコールモノエステル、 $C_1 \sim C_{30}$ カルボン酸のエチレングリコールジエステル、 $C_1 \sim C_{30}$ カルボン酸のプロピレングリコールモノエステル、 $C_1 \sim C_{30}$ カルボン酸のプロピレングリコールジエステル、および上記の種類の化合物のプロボキシル化およびエトキシ化誘導体を含んでもよい。カルボン酸は、直鎖または分枝アルキル基または芳香族基を含んでも構わない。例として、セバシン酸ジイソプロピル、アジピン酸ジイソプロピル、ミリスチン酸イソプロピル、パルミチン酸イソプロピル、プロピオン酸ミリスチル、ジステアリン酸エチレングリコール、パルミチン酸 2-エチルヘキシル、ネオペンタン酸イソデシル、マレイン酸ジ-2-エチルヘキシル、パルミチン酸セチル、ミリスチン酸ミリスチル、ステアリン酸ステアリル、ステアリン酸セチル、ベヘン酸ベヘニル、マレイン酸ジオクチル、セバシン酸ジオクチル、オクタン酸セチル、ジリノール酸ジイソプロピル、カプリル酸/カプリルトリグリセリド、PEG-6カプリル酸/カプリルトリグリセリド、PEG-8カプリル酸/カプリルトリグリセリド、リシノール酸セチル、ヒドロキシステアリン酸コレステロール、イソステアリン酸コレステロール、グリセロールの $C_1 \sim C_3$ モノエステルおよびポリエステル、たとえばトリベヘン酸グリセリル、ステアリン酸グリセリル、パルミチン酸グリセリル、ジステアリン酸グリセリル、ジパルミチン酸グリセリル、糖類の $C_1 \sim C_{30}$ カルボン酸モノエステルおよびポリエステル、たとえばテトラオレイン酸グルコース、大豆油脂肪酸のグルコーステトラエステル、大豆油脂肪酸のマンノーステトラエステル、オレイン酸のガラクトーステトラエステル、リノール酸のアラビノーステトラエステル、テトラリノール酸キシロース、ペンタオレイン酸ガラクトース、テトラオレイン酸ソルビトール、不飽和大豆油脂肪酸のソルビトールヘキサエステル、ペ

ンタオレイン酸キシリトール、テトラオレイン酸スクロース、ペンタオレイン酸スクロース、ヘキサオレイン酸スクロース、ヘプタオレイン酸スクロース、オレイン酸スクロースを挙げることができる。